

大垣市(岐阜県)の一体的実施

平成24年4月2日事業開始

大垣市役所本庁舎内で市とハローワークが連携して、ワンストップサービス（生活相談・職業相談・職業紹介等）の実施。

大垣市子育て総合支援センターへ、ハローワークの出張職業相談等の実施。

市

市役所庁舎の提供
生活相談等の実施



国

職業相談・職業紹介等の実施

① 事業内容

- ・市役所庁舎内の「大垣市雇用・就労支援センター」(ワークプラザおおがき)で外国人の方・子育て中の方・生活に困窮している方等に生活相談・職業相談・職業紹介等を実施
- ・子育て総合支援センターで子育て中の方に職業相談・職業紹介を実施

② 協定・事業計画

- ・大垣市長と岐阜労働局長の間で協定(*)を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を大垣市と岐阜労働局の間で策定

* 協定の実施等について相互に要望することができ、出された要望には誠実に対応する旨を規定。



市役所本庁舎において市の生活相談等とハローワークの職業相談・職業紹介等による外国人の方・子育て中の方・生活に困窮している方等へのワンストップのサービス提供が実現。

大垣市子育て総合支援センターにおいて、子育て中の方にハローワークの職業相談・職業紹介が実現。

(1) 実施体制

大垣市

- ・ 雇用・就労相談員1名を配置
- ・ 通訳1名を配置

国(ハローワーク大垣)

- ・ 就職支援ナビゲーター1名を配置
- ・ 職業相談員1名を配置
- ・ 通訳1名を配置
- ・ 求人情報提供用のパソコン2台を配置

(2) 事業目標と取組状況(6年度)

項目	事業目標(年度)	取組状況(令和6年5月末現在)
市役所本庁舎内の「ワークプラザおおがき」での職業相談・職業紹介等の実施	◇合計 利用者数: 4,500名 就職者数: 165名 就職率 : 31.2%	◇利用者数累計 719名 ワークプラザおおがき 719名 ◇就職者数累計 27名 ワークプラザおおがき 27名 ◇就職率 34.9%
子育て総合支援センターでの職業相談等の実施	◇子育て総合支援センターからマザーズへ誘導し、半年以内にマザーズを利用した割合 60%以上 (参考)前年度目標 ・利用者数: 5,000名 ・就職者数: 150名 ・就職率 : 33.0%	◇子育て総合支援センターからマザーズへ誘導し、半年以内にマザーズを利用した割合 57.1% (参考)前年同月実績 ・利用者数累計 743名 ・就職者数累計 27名 ・就職率 81.0%

一体的実施事業(大垣市)による就職成功例

女性：60代 希望職種：保育士

○ ワークプラザおおがきへ来所された理由

ワークプラザおおがきではゆっくりと話せる環境のため。

① 抱える課題

人と接することが好きなため接客、特に子供と接する仕事がよい。できれば自宅近郊で探しているが該当求人が見当たらない。現在は放課後デイサービスに在職中も新型コロナウイルス感染症の感染防止による自宅待機状態のためどうすればよいか先行き不安である。

② 支援内容・ポイント・経過

自宅待機であっても籍は残っているため、就職内定時にトラブルにならないよう対応の注意点を説明。自動車通勤可能なため仕事内容を優先であれば探す範囲を広めることをアドバイス。範囲を広めたところ、勤務日数、勤務時間は少ないが希望に見合う仕事内容であったため紹介に至る。

③ 結果

面接後、保育士の採用が決まる。

○ ハローワークの職業相談員の所感

応募者のこだわりたいポイントや妥協できるポイントを聞き取り希望に見合う仕事内容の就職に結びつきました。

○ 本人のコメント

体力的に問題のない範囲で就職ができました。

男性：50代 希望職種：大型運転手

○ ワークプラザおおがきへ来所された理由

ワークプラザおおがきは自分のペースで相談でき利便性がよい。

① 抱える課題

長年大型運転手をしてきたが、どの職場にもなじみず短期間で退職してしまう。またプロ運転手としての誇りが強く実直な性格が協調性に欠けると判断されてしまうことが課題としてあり。

② 支援内容・ポイント・経過

取引先、職場等で柔軟な対応と協調するよう心掛けることを助言。併せて危険物取扱の資格を生かすよう求人範囲を広めることを提案し、大型タンクローリー等石油製品の配送など一覧の情報提供を行い、選択範囲をひろげることの提案。

③ 結果

地場大手の石油会社へ書類選考、面接を経て採用が決まる。

○ ハローワークの職業相談員の所感

日々、自身がスマホ、PC閲覧検索で就職可能な求人情報を得ていた事と選択範囲を広げる事が好結果に結びつきました。

○ 本人のコメント

面接後、来所されて深謝されました。